



参加者で記念撮影



建設機械に試乗



測量作業を体験

場所が石岡市田島地区。切土や盛土、軟弱地盤の改良工などを行っている。

ち、将来の職業選択肢のひとつに建設業を選んでもらえたら」と話した。

現場見学会を終え、木村保幸専務取締役は「ICT施工やドローン撮影、地盤改良工など最先端の技術を見て、触れてもらい、有意義な時間を過ごしてもらえたと思う。今日の現場見学会を機に、建設業に興味を持ち、将来の職業選択肢のひとつに建設業を選んでもらえたら」と話した。

キムラ工業（株）（牛久）業高校の1年生約40人を市、木村和夫代表取締役 招き、現場見学会を開催役は11日、県立土浦工した。対象は、国土交通



木村専務取締役

谷内現場代理人

キムラ工業

高校生に現場説明 ICT施工など解説

省常陸河川国道事務所発注のH31年国道6号千代田石岡B.P.田島地区改良工事。参加した生徒たちはICT施工など最先端の技術を体感した。

見学会に先立ち、現場代理人を務める谷内寛氏は「石岡市内の渋滞の緩和を目指してバイパスを造る工事。このバイパスが完成すると、石岡市内における国道6号の渋滞緩和、バイパスを含む茨城空港連絡道路を整備することで、茨城空港へのアクセスの短縮などが期待されている」と工事概要や事業の目的などを説明した。

続いて生徒たちは3班に分かれて見学。パワーブレンダー工法や深層混合処理工法を用いた地盤改良工の見学、ICT建設機械の試乗、ドローンを使った3Dモデルによる測量体験などを行った。

未来を担う高校生が工事現場を見学



参加者で記念撮影

常総国道と茨建協協力

バイパス改良（施（キムラ工業）を説明

国土交通省常総国道事務所と県建設業協会は11日、キムラ工業（株）（木村和夫代表取締役、牛久市）が施工する牛久土浦バイパスの現場見学会を開いた。県立土浦工業高校の1年生約40人が参加。ICT施工を活用し整備を進める地盤改良工の現場を体感してもらった。

開会にあたり、大河内憲司工事課長は「完成前の道路において、工事の



夏堀建設監督官



大河内工事課長



木村専務取締役

説明や建設体験を通じて建設業の魅力を発信できればと思います。短い時間ですが、建設業界に興

味や関心を持ってもらえたらうれしい」とあいさつ。

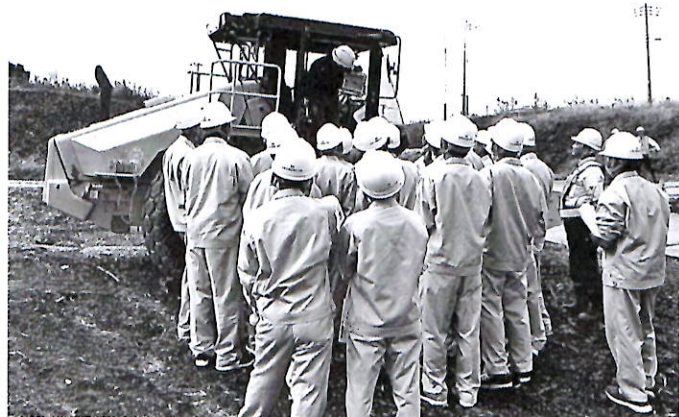
常総国道事務所の夏堀建設監督官が事業概要の説明とともに「限られた時間となりますが、ぜひ見学してほしい」と話した。

その後、生徒たちは2班に分かれ、転圧ローラーの説明を受けたほか、高さ6m程度まで上昇させた高所作業車の試乗、展望台から地盤改良工の現場見学などを行った。

最後に木村専務取締

役は「建設業界はインフラの老朽化、担い手不足、働き方改革など抱える問題がある。皆さんに見ていただいたTS測量やICT施工をはじめ、国をあげてi-constructionや働き方改革を推し進めている」と業界の現状を説明。

その上で「日ごろ、学校で学んでいることや今日の見学会で見て学んだことを生かして、建設業界にチャレンジしていただける人が増えてほしい。建設業界にも目を向けて明日からの勉強に役立て、将来の選択肢のひとつとしてほしい」と未来の担い手の誕生に期待を込めた。



ICT重機の取り扱いを説明



高所作業車に試乗

今回の現場見学会の会場は、常総国道事務所が発注した「H30牛久土浦B・牛久地区改良工事」。場所は牛久市城中地内。